

第3回 学校運営協議会 議事録

H 3 1 . 2 . 1 5

参加者 10名 (13:50~15:50)

谷萩 昌道 様 蓬田 優 様 舘野 法子 様
高山 信夫 様 高橋 葉子 様 大貫 義見 様 (地域学校協働活動推進員)
校長 鈴木 一恵 教頭 人見 佳代子 教務主任 金久保 貴子
地域連携教員 芋川 晴恵

内 容

- (1) 学校施設・授業の参観・学校評価の記入
・各教室個別参観
- (2) 話し合い

①校長あいさつ

本日は、お世話になりました。児童虐待のニュースに心が痛みます。児童の様子を日頃から見守り、家庭の様子を見取りたいと思っております。

本年度の児童数は341名。来年度は349名となり増加の予定です。仁良川地区が多い状況です。

1月後半にはインフルエンザの影響で4学級が学級閉鎖となりました。現在は、1名の罹患となりましたが、感染性胃腸炎やマイコプラズマ肺炎などの罹患もあるので、引き続きうがい手洗いの励行をしてきます。

第1回学校運営協議会で承認を得た学校経営計画を順調に実施することができました。その様子は学校だよりでもお知らせしております。

「知」では、県指定学力向上の推進として2年間で10回の研修を行いました。毎日の朝読・ぐんぐんタイム実施などにより、児童の学力の伸びが認められ、県からも賞賛されました。家読のすすめや家庭学習強調週間の実施などにより児童の意欲も向上しています。本校の成果が認められ、学力向上推進リーダーの土田教諭が文科省優良教員の表彰を受けました。PTA 活動での学級文庫の活動もベースとなり感謝しています。

「徳」では、異学年交流を実施しています。特色ある教育活動では、ふるさと学習の一環としてえごまの栽培・えごま油絞り、かんぴょうづくり・ふくべ細工体験を実施しました。谷萩先生には薬師寺の歴史講座をお願いしました。薬小っこ集会で学年発表並びに「お琴・シンセサイザー演奏」を聞きました。児童によるオカリナの演奏に取り組むこともできました。

「体」では、体力作りとして持久走・なわとび・外遊びを行いました。学校保健委員会では姿勢について児童からの発表を行い、校医さんから講話をいただきました。朝のタイムに立腰を行っています。姿勢は、学力・気力・体力に重要であることを再確認いたしました。

県以上の表彰では、ジュニア知事の作文やとちぎ百様の俳句、

	<p>県の理科展覧会での入賞など活躍していました。</p> <p>地域と共にある学校というねらいのもと、地域の皆様と活気ある児童の様子を共有することができました。</p>
②教育活動アンケートの結果	<p>今年度から4校同じ内容で実施</p> <p>肯定的結果は、⑥⑩⑱ 本の貸し出しは、1.7倍伸びた。</p> <p>課題は③について・・・○職員と△児童・保護者との差がある</p> <p>④について・・・○児童・職員と△保護者</p> <p>⑨について・・・○児童・保護者と△職員</p> <p>⑫について・・・交通ルール 職員と児童との意識の差</p>
③教育課程（職員自己評価）結果・改善策	<p>良い点 安全教育面・・・登下校指導・避難訓練などの実施</p> <p>特別支援教育・・・学校全体で取り組めた</p> <p>学校課題推進・・・学力向上研修やぐんぐんタイムの実施</p> <p>改善点 道徳の時間の充実・・・研修での教科への理解の深化</p> <p>情報教育の推進・・・レノボ・ペッパーの活用</p>
④地域連携教育について	<p>ふるさと学習の実践は10年以上になりました。歴史館との連携を行い、6年間で地域の素晴らしさに気づけるようになっていく。5年生でえごま絞り体験ができた。</p> <p>新しい取組</p> <p>①6年 谷萩さんの歴史講話</p> <p>②6年 日本の音楽 琴体験</p> <p>③6年 職業についての講話（総合でのキャリア教育）</p> <p>④1・2年 パネルシアターの実施</p> <p>⑤その他 学校支援ボランティア等の活用</p> <p>地域と連携の充実に努めている。</p>
⑤質疑応答	
高山さん	Q：教育活動アンケートは ABCD でまとめてあるが、子どもたちの回答も ABCD なのか。
人見教頭	A：ABCD でなく、A あてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D あたはまらないという言葉を選択させた。回答しにくいところは空欄。
高山さん	Q：郵便局見学では謝礼を渡しているのか
芋川教諭	A：謝礼はない
谷萩さん	Q：教育活動アンケートの22番は1年から6年生まで質問しているのか。
人見教頭	A：全児童に質問している。全学年内容は一緒。難しい言葉は担任が補足説明している。
谷萩さん	・7番なども難しいと思われる。御指導よろしく申し上げます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・15 番の質問の書き方が回答しにくいと思われる。給食のおいしさと食べ物の好き嫌いを並列に聞いている。自分の気持ちがどちらか一方だけだと答えにくい。
高山さん	Q：今回のアンケートの結果は、どこまで周知するのか
人見教頭	A：保護者へは、12月に結果を配布済み。 今月の末にホームページにて公開
高山さん	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年児童には、分かりやすく解説しながら、アンケートを実施したことを表記した方がよい。
谷萩さん	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをするとき、担任が話すとアンケートにならなくなりがち。説明しながら誘導が入ってしまうことがある。大学では、アンケートに記入するときは、先生は席を外して書かせる。終了後生徒が集めて事務局へ提出している。先生が離れると自由に書けると思う。1年生に読むときは、担任の思いが入らないようにしなくてはならないと思う。大変だと思うがお願いしたい。
人見教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度末にはアンケート内容が決まっていた難しさがある。表記の改善を図っていきたい。
谷萩さん	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の思いが入らないよう
人見教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・4校で話し合っていく。
大貫さん	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生4月に参観した頃と比較すると成長を感じる。日々の積み重ねが感じられる。 ・6年生も大人びてきた。春とは違う。中学生になる表情であった。
大貫さん	<ul style="list-style-type: none"> ・薬小は活気がある。こどもたちが質問していて素晴らしい。
蓬田さん	Q：租税教室はどこから来ているのか
芋川先生	A：市の税務課から来ている。
蓬田さん	<ul style="list-style-type: none"> ・是非活用して欲しい。税はむずかしい。職員の専門性を生かして講話できる。体験的と言うのはどの程度なのか、希望を税務課に具体的に知らせるといい。 市の税金の用途など、収入の在り方など聞くとよいと思う。
鈴木校長	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに分かりやすい講話をしてきている。資料や映像もあり、映像資料には税金の用途の話も含まれていた。子どもたちは驚いていた。
蓬田さん	<ul style="list-style-type: none"> ・自身が専門なので、活用して欲しいと願っている。
舘野さん	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になりました。教育活動アンケートでは AB の回答が多

- く、児童が楽しく通学できているのがわかる。一方、CD もいるので気になる。児童・保護者・職員で温度差がある事が分かった。
- 鈴木校長 ・ D の 1 % ということは、3 人の児童がいることである。校長として、会議で職員に D と答えている児童の存在について意識するように働きかけた。具体的にどの子なのか児童の様子を見つめ直してほしい。サインを見逃さないようにと話した。
- 高橋さん ・ 教育活動アンケートの 19 番で D と答えている児童が 0 % であった。全児童が運動会や薬小祭に積極的に参加してくれている。PTA として学校に来て何ができるかを考えてきた。現在の良いところを残していきたい。
- 鈴木校長 ・ 歴史のある薬小は、昔から続いているものが多い。保護者のご負担も多いと思われる中、地域に根付いているものが多い。今後、統一したときに薬小の良さを残してもらえればと思っている。
- 蓬田さん Q : 各地区、各校の特徴を出し合って関わるところを見つけていく。各地区を統括して見なくてはいけない。各地区をまとめていく・絞っていく等の作業をするのか
- 鈴木校長 A : 来年度から部会が立ち上がることになっている。3 年掛けて方向性を話し合っていくことになるだろう。
- 蓬田さん Q : 子ども達をどのように導いていくのか。
地域が広いので、残すものを大切にしておいて欲しい。それは学校から発信していくのか。地域からなのか
- 鈴木校長 A : 4 校の PAT 会長が絹地区に見学に行った。昨日、教育委員と PTA 会長の懇談会があり、各校の PAT 会長も参加している。統一への期待感があるが、なくなる寂しさもあるとの意見が多かった。薬小のよさをつないでいきたいと思う。そこに各校のよさを重ねたいと思う。

(3) 平成 31 年度の学校運営協議会委員の選出について

- 鈴木校長 今後 4 校がひとつになる。地域とのつながりが大切。この学校運営協議会の意見が重要になるだろう。今後、ご意見を伺うことも増えることが予想される。来年度も引き続き学校運営協議委員をお願いしたい。

全員の了解を得る。